

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会 第19回実践発表会 演題募集のお知らせ

会員の皆様から日々の実践の中で「考えていること」「伝えたいこと」「まとめたいこと」などを実践発表、研究発表として募集し、みんなで学びあう場を企画します。

自己自身の振り返り、実践のまとめ、腕だめしとして、是非ともあなたの日頃の実践を紹介してください。

演題募集要項

1. テーマ

ソーシャルワーク業務に関する実践報告、調査研究、業務分析など（自由演題）

2. 実践発表会・日時

日程：2026年2月28日（土） 時間：14:00～17:00（予定）

3. 実践発表会・場所

三栄会広畠病院&zoom

4. 申し込み資格

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会会員（個人正会員に限る）

※当協会正会員を代表とするグループ発表は可

5. 発表方法

口述発表 10分 質疑応答8分（パワーポイント使用可）

（ご発表いただく方には、後日、発表要綱をご案内致します。）

6. 申し込み方法

1) 演題申し込み 締め切り 2025年12月15日(金)必着

裏面申し込み用紙の内容（発表趣旨と必要事項等）を下記申し込み先までメールにてお送り下さい。（締め切り後1週間を過ぎても連絡がない場合には再度お問い合わせください）

2) 抄録原稿の提出 締め切り 2026年1月16日(金)必着

抄録原稿はA4用紙（縦）2枚（横書き・図表等含む）でお願いします。
そのまま印刷しますので、下記までメールでお送り下さい。

7. 申し込み・お問い合わせ先

企画担当メール（返答には数日のお時間を頂戴します。ご了承ください）

hmsw.kenshu@gmail.com

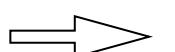
（エイチエムエスタブル ドット ケイイーエヌエスエイチユー@gmail.com）

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

第19回実践発表 演題申込書

ふりがな			受付 No.
申込者氏名			
所属機関・部署名			
所属機関連絡先	<p>〒 TEL FAX E-mail</p>		
共同演者(あれば)	所属機関名		
演題名			
発表趣旨			

演題申込み先： 研修担当メールまで



hmsw.kenshu@gmail.com

(エイチエムエスダブル ドット ケイイーエヌエスエイチユー@gmail.com)

以下は、今までに発表された演題の一覧です。日々の実践報告、事例など様々なテーマが発表されてきました。共同発表の形式を取るなど、グループでの発表もOKです。多数の応募、お待ちしております。

過去の発表演題（例）

- ・「地域包括ケアの推進に向けた取り組み報告」
- ・「ハンセン病の歴史と現状を学ぶ～共に生きる社会の構築を目指して～に参加して」
- ・「治療・制度利用を通して生活環境改善事例」
～難病・知的障がいの疑いから自助努力が期待できない場合～」
- ・「兵庫区地域医療連絡会 活動報告」
- ・「在宅療養後方支援病院としての取り組み～MSWの視点から～」
- ・「公立八鹿病院における退院支援の取り組み～MSWの介入と多職種との連携～」
- ・「アルコール依存症治療病棟における入口と出口、社会資源の利用状況について」
- ・「どう生きるのか」にコミットし続けた僕の2716時間
～末期癌K氏と向き合った老健アットホームでの支援を通して～
- ・「児童虐待におけるMSWの実践～現状と課題～」
- ・「認知症になっても、高齢者、家族、周りの人々が困らない町を目指して」
一人一人に還る連携・ネットワーク構築を考える
- ・「一枚岩の会 実践報告2～目の前の患者さんからこれから地域共生社会について考える～」
- ・「学習することは楽しい？大変？～兵庫民医連SW委員会 学習担当者活動報告～」
- ・「療養場所選択支援の現場で何が起きているのか」
～予測生命予後1か月未満の患者群への退院支援結果より～
- ・「知的退行を伴うMELAS（卒中様症状を伴うミトコンドリア病）患者の就労支援の一例」
- ・「精神科病院での退院支援について～自宅退院の障壁～」
- ・「クライエントの退院支援の過程をバイザー・バイジーの視点で振り返って」
- ・「救急認定ソーシャルワーカーの役割」
- ・「エアコン購入費に対する制度について～外来での取り組みを通して～」
- ・「ミクロからメゾ・マクロへの一歩
～認知症疾患医療センター ソーシャルワーカー奮闘記～」
- ・「判断能力が不十分な患者への退院支援におけるソーシャルワーカーのジレンマ
～発達障害の疑いがある患者の事例を通して～」
- ・「自己決定って何だろう～実際の援助からの考察～」
- ・「神戸広域MSWのネットワーク構築に向けて
～脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の取り組みを通じて～」
- ・「ひょうご心不全療養指導士ネットワークについて～心不全と心不全療養指導士のお話～」
- ・「ソーシャルワーカーとして大切な事～病院・介護老人保健施設・在宅部門のソーシャルワーカーを経験して～」
- ・「18歳頸髄損傷患者との関わり～回復期リハビリテーション病棟での取り組み～」